

【教員の教育研究業績等】

氏名	大熊 美佳子	所属	幼児教育学科	職位	准教授
研究分野	教育学／心理学関連分野	学位	家政学修士		
資格・免許	幼稚園教諭一種免許状				
担当教科	保育の心理学, 心理学特講, 教育実習指導Ⅰ・Ⅱ, 幼児教育研究, 教育実習Ⅱ, 教育実習, 保育・教職実践演習(幼稚園), 発達心理学, 教育心理学				
教育上の能力及び職務上の実績に関する事項					
事 項				年月日	
1 教育方法の実践例 課題解決型グループワークの実践				平成28年～	
2 作成した教科書、教材 秋草学園短期大学幼児教育学科「教育心理学」「発達心理学」において自作のプリント資料を配布。 パワーポイント活用の授業において、提示情報の中から、重要語句を中心に空欄にし、学生自らが書き込むことで、授業内容を網羅した資料集となるように作成した。				平成26年4月～平成30年3月	
3 教育上の能力に関する大学等の評価 幼児教育学科第二部「発達心理学」の授業評価アンケートによれば、授業の進め方、プリント等が学習理解に役立った、などの項目では満足度指数が高く、授業に対する総合的な満足感の平均値は4.52で、全学平均値(4.10)、学科平均値(4.03)を上回っており、総合的な満足感においては、大変満足している・満足していると回答した学生は94%を超えていた。				平成30年7月	
4 実務の経験を有する者についての特記事項 東京都保育士等キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援)において、保護者支援と相談援助について講師を務めた。				令和元年8月	
5 その他					
研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	
(著書) 1. 幼稚園事典 2. スピード攻略公認心理師集中レッスン 3. 詳解公認心理師過去問題集		共著 共著 共著	平成6年 令和2年4月 令和2年4月	すずき出版 成美堂出版 成美堂出版	
(学術論文) 1. 認定こども園に対する保護者(母親)と教諭・保育士による評価 2. 達成動機と親和動機一構成要素としての因子の次元性と動機発現に関わる場面規程性について一 3. 乳幼児期から青年期に至る「読み聞かせ一読書」活動の実態と促進要因の検討 4. 児童期・青年期の読書環境が読書活動のあり方、認知・社会的発達に及ぼす影響過程 5. 幼稚園教諭・保育士の成長過程に関する研究 6. グループワークにおける保育学生の協同作業認識と役割意識について 7. 保育学生の学習継続動機づけに関する研究		共著 単著 共著 共著 単著 単著 単著	平成23年3月 平成24年3月 平成26年11月 平成27年11月 平成29年3月 平成30年3月 令和2年3月	子育て研究 創刊号 ソーシャルモチベーション研究 第6巻 白百合女子大学生涯発達研究教育センター紀要第6号 白百合女子大学生涯発達研究教育センター紀要第7号 秋草学園短期大学紀要第33号 秋草学園短期大学紀要第34号 秋草学園短期大学紀要第36号	
(その他) 1. 保育学生の協同作業認識と役割意識について一課題解決型グループワークを通して一 2. 幼稚園の子育て相談室に対する母親のニーズについて一母親参加型の小さな集いから個別相談へ一 3. 女子短期大学生の学習継続動機づけ 4. 保育学生のレジリエンスと学生生活における不安について 5. 学業継続動機づけと特性的自己効力感の関連について一女子短期大学生の学びに関する動機づけの検討一 6. 子ども観と子育て観について一子育て経験の有無による比較一 7. 保育学生のレジリエンスと学校生活における不安の変化について 8. 自己効力認知の変容についての一考察一女子短期大学生の縦断調査による検討一 9. 女子短期大学生の学習継続動機づけの変容一学科選択動機づけとの関連一 10. 学習継続動機づけを支える要因について 女子短期大学生の縦断調査による検討		単著 単著 単著 単著 単著 共著 単著 単著 単著 単著	平成29年3月 平成29年3月 平成29年11月 平成30年3月 平成30年3月 平成30年8月 平成31年3月 平成31年3月 令和元年8月 令和2年3月	日本保育者養成教育学会第1回研究大会、白百合女子大学 日本発達心理学会第28回大会、広島大学 日本子育て学会第9回大会、いわき明星大学 日本保育者養成教育学会第2回研究大会、共立女子大学 日本発達心理学会第29回大会、東北大学 日本パーソナリティ心理学会第27回大会、立命館大学 日本保育者養成教育学会第3回研究大会、東北福祉大学 日本発達心理学会第30回大会、早稲田大学 日本パーソナリティ心理学会第28回大会、武蔵野美術大学 日本発達心理学会第31回大会、大阪	